

【柱6】地域医療

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(1)在宅医療、地域での医療提供の充実と多職種連携の一層の推進	●高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、支援が必要な人に適切な医療や介護・生活支援サービスを提供するとともに、ライフスタイルや身体機能に応じて住まい方の選択ができる環境づくりを進める。	ホームホスピス、居宅介護支援、デイサービス、訪問介護、訪問看護ステーション等の運営、終末期医療や地域包括ケア等についての普及啓発活動	特定非営利活動法人なかの里を紡ぐ会	—	—	ホームホスピス:定員5名 ベッド稼働率95% 看取り2名。最期まで口から食べる為の食支援・自然な排便ケア、吸引などの医療的ケアに取り組む。 中野フリー活動栄養士会と連携し、嚥下困難のある人への食を研究した。 介護事業実績(延べ利用者数):居宅介護支援:812名、デイサービス:2182名、訪問介護:5998名、訪問看護:4754名 普及啓発事業:MIKAN(みんなで考える中野ネットワーク)のメンバーとして中野ダイバーシティフェスタに参加し、認知症に関して講演会等を実施した。帝京平成大学看護学部・薬学部学生の地域実習受け入れ。薬学部学生は「オレンジバルンフェスタミニ」(緩和ケアの普及啓発事業)として「ホームホスピス」についての報告会を行った。	—
		東京都区西部緩和ケア連携推進事業の相談支援部会の相談窓口や、冊子「がんと共に生きる」の作成	NPO法人ピクニックケア	—	—	新宿中野杉並区を医療圏域としたがんの緩和ケア、在宅療養支援のための冊子を病院看護師、在宅看護師、病院MSW、ケアマネジャーの代表者と連携し作成し窓口として中野区内医療介護及び行政に配布した。また、1/15(日)にアロハデイサービスを会場としてがんと食をテーマにフォーラムを開催した。	—
		★区民それぞれが望む在宅療養生活の実現 ○ACP(アドバンス・ケア・プランニング) 普及啓発 ○在宅療養相談窓口 ○在宅療養推進事業	地域包括ケア推進課	①主治医と十分連携が取れているケアマネジャーの割合	43%	47.8%	55%
			②「長期療養が必要になった場合に可能な限り自宅や実家で過ごしたい」人の割合	32.7%	36.4%	60%	
	●区民の誰もが、身近な地域で安心して必要な医療を受けられる体制づくりを進める。 ●医薬品の安全・安心を確保するため、事業者等への指導を行うとともに、区民が適切に医薬品を使用できるよう普及啓発を進める。	★地域での医療提供の充実 ○地域医療機関整備の検討 ○地域医療連携 ○休日診療・小児救急医療体制整備	保健企画課	①地域の救急医療体制が整っていると思う人の割合	74.5%	77.8%	80%
		★保健所機能の強化 ○保健所機能強化 ○医療安全相談窓口事業	保健企画課 保健予防課 生活衛生課				
	★薬局等における安全管理体制の充実 ○医薬品販売業者等監視指導 ○医薬品等検査 ○残薬整理事業	保健企画課 生活衛生課	②かかりつけ医を決めている区民の割合	64.4%	71.4%	80%	

【柱6】 地域医療

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
<p>(2)かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の推進</p>	<p>●区民の誰もが、身近な地域で安心して必要な医療を受けられる体制づくりを進める。</p>	<p>○中野区の医療行政全般(学校医など学校保健、予防接種、乳幼児健診、妊婦健診、区民健診、休日診療、小児初期救急医療、災害時医療など) ○産業医の育成、紹介 ○区民に対するかかりつけ医紹介、栄養指導等 ○訪問看護、訪問介護等と連携した在宅療養の推進 ○これまでの取組の継続(主治医による相談支援の強化、すこやか福祉センター地域包括支援センター、社会福祉協議会等との連携強化、健診への理解促進、病病・病診・診診連携の推進、ICT活用による情報共有の推進など) ○新たに①在宅医療を行う医療機関の増加、②認知症に対応できる医療機関の増加、③障害児者に対応できる医療機関の増加、に取り組む(研修会等の実施、会員メンバーリングリストを利用した啓発活動等)。</p>	<p>一般社団法人、中野区医師会</p>	<p>かかりつけ医を決めている区民の割合</p>	<p>64.4%</p>	<p>71.4%</p> <p>2022年度は新型コロナウイルス感染症の対応を重点的に行った。保健所、病院、診療所と連携し、ワクチン接種の推進、診療、検査を実施した。また、保健所、フォローアップセンターから依頼を受け、在宅療養者の遠隔診療82件、往診6件に対応した。また、東京都から依頼のあった酸素・医療提供ステーション等の派遣依頼に対応し、医師を5名派遣した。 区内の医療全般等、これまでの取り組みを継続し実施した。在宅療養の推進として、中野区地域包括ケアに協力し、各種会議へ医師を派遣した。在宅療養(摂食嚥下機能)支援事業で研修会を年7回開催し、多職種340名が参加した。在宅難病患者訪問診療事業にて主治医、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、ケアプランセンターと連携し、55件の患者訪問およびケース検討会を実施した。</p>	<p>80%</p>

【柱6】地域医療

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(2)かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の推進	●区民の誰もが、身近な地域で安心して必要な医療を受けられる体制づくりを進める。	○中野区歯科健診事業 成人・妊産婦・1歳6か月児・3歳児・5歳児歯科健診 ○休日歯科健診、歯科医療拠点事業 ○区内学校歯科健診（保育園、幼稚園、小学校、中学校） ○なかの歯と口の健康支援センター（障害児歯科診療、訪問診療、在宅口腔リハへの支援、区民への相談対応、各種福祉施設との連携など） ○一般介護予防事業「口腔機能・栄養向上プログラム」なかの・からだナビ（令和5年度より変更） ○区民のための「お口の健康講座」8020表彰 ○なかの健康づくりフェスタでのすこやか家族表彰（3歳児表彰）	一般社団法人 中野区歯科医師会	○かかりつけ歯科医を持つ区民の割合	61.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●中野区歯科健診事業 成人 6,397人 妊産婦 747人 1歳6か月児 1,785人 3歳児 1,566人 5歳児 1,017人 ●休日歯科診療 241人 歯科医療拠点事業 来院患者 88人 電話相談 28回 ●区内学校歯科健診 保育園 84園 幼稚園 2園 小学校 21校 中学校 9校 ●なかの歯と口の健康支援センター 障害児(者)歯科診療 797人 訪問診療支援 69件 在宅口腔リハへの支援 21件 区民への相談対応 55件 各種福祉施設との連携(歯科健診と健康相談) 64回 ●介護予防事業「なかの元気アップセミナー口腔機能向上プログラム」 1コース 2人 2コース 5人 ●区民のための「お口の健康講座」8020表彰 136人 ●なかの健康づくりフェスタでのすこやか家族表彰(3歳児表彰) 86人 	75%
				○定期的にかかりつけ歯科医に通っている区民の割合	—	—	35%
				○成人歯科健診受診率	3.3%	3.6%	7%
				○在宅および施設療養者で口腔ケアを受けている区民の割合	—	—	70%

【柱6】 地域医療

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(2)かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の推進	●区民の誰もが、身近な地域で安心して必要な医療を受けられる体制づくりを進める。	○健康サポート薬局による健康相談・指導・セルフ・メディケーション指導・健康講座の開催 ○来局時の利用者の状態変化の把握と発症前の早期発見・受診勧奨、関係機関紹介、かかりつけ薬局の推進 ○主治医や在宅チームとの連携強化 ○残薬管理、服薬指導 ○衛生材料・介護用品の提供体制整備 ○生活や保健衛生状況の確認 ○かかりつけ薬局での24時間相談対応 ○在宅訪問による服薬指導・管理 ○見守り支援(SOSの早期発見) ○地域住民から徘徊等の情報受信	一般社団法人 中野区薬剤師会	○健康サポート薬局数の割合	—	6件 5%	25%
				○健康講座開催回数	—	3回	2回/年
				○薬局のうちかかりつけ薬局の割合	—	100%	すべて
				○在宅訪問指導実施薬局	—	91%	95%
				○認知症サポーターの割合	—	30%	95%